

歐洲の暗雲 晴れず

伊國、領土要求

一九三八年も餘す所十日と

なつたが世界の不安は一向解

消せず、来る一九三九年の新

しき年に入つても國際政局の

雲霧は急には晴れさうもない

情勢である、歐洲だけにつけ

て見ても今年も愈々押詰つた

今日この頃、伊太利は舊領土

であり且つ伊太利人の多いコ

ルシカ、ニース、阿弗利加チ

ニエス等の佛領過境要求を叫

びを擧げ、一方フランスは武

力に掛けても一寸の土地なり

とも伊太利に譲らずと威張り

佛伊兩國關係は緊張の極に達

してゐるのである。

獨伊側新興勢力の勃興は元

來不公正平等の歐洲地圖を

頻りに書替え、獨乙は周知の

通り獨逸併合、ズデンケン併

合と再度に亘り之に成功して

あるのである、結局之は力の弱

いことはそれを好む

と好みない拘らす全世界の

齊しく認める所であらう。今

回の伊太利の領土要求にして

も又この例に倣ふものではない

問題であることはそれを好む

と好みない拘らす全世界の

齊しく認める所であらう。今

回の伊太利の領土要求にして

も又この例に倣ふものではない

問題であることはそれを好む

と好みない拘らす全世界の

齊しく認める所であらう。今

回の伊太利の領土要求にして

も又この例に倣ふものではない

問題であることはそれを好む

近く第十七次談會

(東京廿日同盟) 日ソ漁業問題に関する十七日の東

郷、リトビノフ第六次會議は暫定協定に對する日ソ

間の主張對立のまゝ既報の如く再び物別れにて終り、

一兩日内に第七次會議が行はれる事になつたが、

帝國政府としては飽まで我方の正當な提案を内容と

する暫定協定の年内解決の既定方針に邁進する筈で

ある、尙第六次會議の内容は左の如し

につき追求したところ、リ委員は貴方に於てソ連案を全般

大便は日本海の漁區全部を日

本の經營から除外すること

に必要となる何等の措置を取るに至つた。

につき論議する價値よりやな

が被絶反であることは貴方に於て

あると云はれる。

ソ連の漁業計画に關し

は同書はウラヂオ

イタリイー目下建造中のもの

は戰艦四隻、巡洋艦十二隻

等は十六インチ砲九門を裝

備してゐると云はれる。

更にソ連は三萬五千噸級戰

艦三隻の建造を計畫中で之

の報道は日本側と無關係の

第三者的報道によつてなさ

ざれにソ連は漁業計画に關し

を根據として潜水艦七十隻

を戰艦五十隻を擁するもの

は電氣治療器及機械

等は同書は日本側と無關係の

